



第3回国連防災世界会議
地区防災計画モデル地区フォーラム

「上足洗3丁目**楽縁隊**」
地区防災計画とその活動記録

日時：平成27年3月14日（土）
場所：宮城県仙台市宮城県民会館
<http://www.bosai-sendai.jp/>

リーダー：佐藤 隆
サポーター：石井洋之

1. 自己紹介

リーダー：佐藤 隆

- ・ **ふじのくに防災士**
- ・ 静岡市上足洗3丁目町内会副会長
兼防災部長（16年間）
- ・ NPOふじのくに防災・防犯支援センター理事長
- ・ ふじのくに防災指導員
- ・ 静岡県防犯まちづくりアドバイザー
- ・ 元教育関係出版会社勤務
- ・ 私設防災組織「楽縁隊」隊長

サポーター：石井洋之

- ・ **ふじのくに防災士**
- ・ 静岡大学情報基盤センター客員教授
（リスクマネジメント専攻）
- ・ 静岡県立大学経営情報学部客員共同
研究員・博士（学術）
- ・ 静岡県BCPコンサルティング協同組合
理事
- ・ 元損害保険会社勤務
- ・ 中小企業診断士
- ・ ITコーディネータ

2. 上足洗3丁目の地区特性：自然特性・社会特性・マップ

➤地区概要：静岡市HP（平成26.4.1現在）

- 静岡市葵区中心部より北東2kmにある**平地**の**閑静な住宅地**（海岸より約6km）大きな**河川なし**
 - 旧市街地であるため**道路狭く一方通行多い**
 - 木造住宅多く（349棟）**旧耐震基準住宅も多い**
 - 面積：**約18万㎡**（ほぼ駿府城公園と同面積）
 - 人口：**1,564人**（男722人 女842人）
 - 世帯：**647世帯**
 - 高齢化率：**26.4%**（65歳以上413人）
 - アパート・マンション棟数：12棟
 - 店舗・事業所数：10店・4社
- ### ➤ 静岡県第4次地震被害想定ハザード：
- **想定震度 7 最大震度（全地区）**
 - **延焼火災被害 5 危険度最大（全地区）**
 - **液状化危険度 100%（全地区）**
- ### ➤ 過去の被災履歴：
- 昭和49年七夕豪雨で一部住宅が床上浸水



3. 「楽縁隊」の設立経緯

□平成11年佐藤隆が町内防災部長に就任。以降、町内会の自主防災組織はあるが、毎年、班長・組長が入れ替わるため、当地区の組織的な活動はなく、実質的な活動は、**16年間**、佐藤防災部長一人に任せられ活動してきた。

□平成26年7月 ふじのくに防災士会で知り合った石井から、佐藤の**地域防災活動**と石井の**企業防災活動**とを並行して活動を行う必要があるとの意見で一致し、協働活動を開始した。

□同年8月 佐藤の**私的ブレン**6名を選任、「楽援隊」を結成し防災計画を準備する。同地区住民である田辺静岡市長からも激励の連絡をいただいた。

□同年9月 内閣府の「地区防災計画**モデル地区募集**」の情報を知り、応募。メンバーの確定。

□同年10月「モデル地区」の**審査合格**し、「楽縁隊創設会」を開催し本格的活動開始。以降、月例会5回と研修会3回を実施し、活動を継続中。



4. 「楽縁隊」参加メンバー

活動メンバー：

(全員リタイアサラリーマン)

- ・ 佐藤 隆 (リーダー：
元教育関係出版社勤務)
- ・ A (元出版社代理店勤務)
- ・ B (元ガス会社勤務)
- ・ C (元新聞社勤務)
- ・ D (元製薬会社勤務)
- ・ E (元J R勤務)
- ・ F (元国家公務員)

特別メンバー：

(活動協力・支援・連携)

- ・ G (現民生委員)
- ・ H (現民生委員)
- ・ I 工業(株) (建設会社)
- ・ 田辺信宏 (現静岡市長・住民)
- ・ 石井洋之 (サポーター：
元損害保険会社勤務)

5. 地区防災計画の内容 – 基本方針と目標

(1) 活動の基本方針：
災害弱者である**要援護対象者**
の命を守る

(2) 短期目標：平成27年3月末まで
町内防災部長の**私設活動部隊**
「**楽縁隊**」による要援護対象
者の実態調査と対策検討（**民
生委員**と同行調査）

(3) 長期的活動目標：町内の様々
な意見を吸い上げる組織とし
て、「**安全・安心委員会**（仮
称）」を設置する

- ◆ 木造建物多く延焼危険度、液状化危険度高い⇒**早期の避難**が必須
- ◆ 高齢者が多い⇒**道路狭く**旧耐震化基準住宅多い

- ◆ 個人情報関係から**民生委員の協力**が不可欠
- ◆ 高齢者宅への**個別訪問で生活状況**も把握可能
- ◆ **昼間高齢者世帯**の実態把握必要

- ◆ 平成27年度より町内会に、安全・安心静岡一を目指す**新しい正式組織**を立ち上げる
- ◆ **楽縁隊**は、町内会長補佐の組織として地域全体の防災活動を指導

6. 「楽縁隊」の活動の内容：

- 10月創設会：楽援隊発足式。隊の目的、人選経緯紹介、活動計画と討議
- 11月定例会：楽縁隊に改名、基本方針として要援護者支援活動から開始することを決定。
- 12月研修会：G民生委員出席し要援護者の実態確認。町内会長の承認取得、公表承認。
- 12月定例会：D隊員が要援護支援用地区手作りマップ作成、民生委員との同行調査決定
- 1月研修会：G・H民生委員を交えた要援護支援に関する研修
- 1月定例会：第1班の調査結果の報告（感謝）
- 2月研修会：静岡県地震防災センター見学
- 2月定例会：第2班の同行調査の結果報告と3月の発表会に向けて振り返りと今後の活動計画



7. 防災活動の内容：今後の活動予定

(1) 防災活動の体制（要援護支援班「**見守り隊**」の編成）

- ・平成27年度から、楽縁隊メンバー等の**元気なシニアを中心に**、正式に町内会組織として「**安全・安心委員会（仮称）**」を設け、新たな体制を作る。
- ・多くの町内会員に参加を呼びかけ、「要援護支援班」の編成により各種の活動計画を作成する。さらに、防犯・防災を契機として**親密なコミュニティ作り**に着手する。

(2) 平常時の活動・(3) 発災直前の活動

- ・班別に、安全・安心対策の「見守り隊」を編成し、災害時と共に**平時における災害弱者の見守り支援**対策を実行し、災害時のための訓練を重ねる

(4) 災害時の活動

- ・班別の支援隊によって要援護者の**安否を確認**し、対策本部に連絡するとともに、**避難地、避難所への誘導**を支援する（火災等の**2次災害を出さない**）

(5) 復旧復興期の活動

- ・避難所での要援護者の生活を支援し、いち早い**帰宅へ向けて援助**する

(6) 市町村等、消防団、各種地域団体、ボランティア等との連携

- ・実態に即した支援を行うために**民生委員**等関係機関との連携を密にする

8. 上足洗3丁目の目指すところ

- ◆弱者支援の防犯・防災地区計画作りを通じて、「**静岡で一番安全・安心な地区・上足洗3丁目**」を実現する
- ◆平時の防災・防犯活動によって、地区コミュニティの**絆の強化**を図る
- ◆モデルとする事例：
 - 平成26年11月22日22:08に発生した長野県北部地震において、住宅など76棟が全半壊し26人も下敷きになったが、地区住民の連携で一人も死者を出さず救出されたという成果を挙げた「**白馬の奇跡**」がある
 - 同地区の「**災害時住民支え合いマップ**」を参照し上足洗3丁目独自の「**要援護者支援絆マップ**」を地区全員が理解し目標を達成したい

白馬村の「**災害時住民支え合いマップ**」



出典:リスク対策.com vol.47

9. 上足洗3丁目絆マップ



例	別途調査
①	独居老人 男 女
②	老人世帯
③	家具固定 完了 まだ 一部
④	ガラス保護膜 完了 まだ一部 一部安全
⑤	家屋 安全 一部安全 古い 一部古い

町内備品		
①	ジャッキ	台
②	電動 鋸	台
③	ロープ	m × 本
④	スコップ	本
※ 混合オイル		

手配可能〇〇さん 運転手		
①	ユンボ	さん
②	車椅子 チューブなし	台

救急用具		
①	AED	台
②	タンカ	台
③	止血帯	枚

10. まとめ：「**楽縁隊**」活動の特徴と今後の活動に向けて

1. 楽縁隊は、町内会防災部長の私的親衛隊による**平時の防災ボランティア組織として活動**した
2. 民生委員との**個別訪問**同行が、住民との信頼感につながり**住民に感謝される**ことが活動の最も大きなインセンティブとなった
3. **サポーター**の各種情報提供や活動へのナビゲートが、楽縁隊の自発的な取り組み意識を高め**新しいアイデア**が生まれ行動ができた

1. 今後も町内会、自主防災会とは**別組織で活動**し、会長の補佐組織として平時の防災ボランティア活動組織とする
2. 活動を通じて地域での防災ボランティアに**理解のある住民を順次参加**してもらい大きな組織にしていきたい
3. 民生委員だけでなく、今後は**企業の参加**もお願いし、**学校、行政**等とも連携した活動を展開したい。
4. **元気なシニア**の活動拠点となって、地区の活性化を図っていく
5. **サポーターによる計画策定支援の制度**が必要

ご清聴ありがとうございました。

静岡市葵区上足洗 3 丁目

リーダー : 佐藤 隆

サポーター : 石井洋之